

公認卓球コーチ3
資格概要

2025.04.01

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本卓球協会	
養成目的		競技者育成プログラムに基づき、全国レベルの競技者の育成・指導にあたるとともに、コーチ2までの養成講習会の講師等を務ることができる指導者を養成する。	
役割		各カテゴリーのトップチームのコーチングスタッフとして、ブロック及び全国大会レベルのプレーヤー・チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う。	
養成講習会に係る内容	受講条件	(公財)日本卓球協会登録会員であり、受講年度の4月1日現在満26歳以上で、次の①～④何れかの条件を満たす者 ①原則として、コーチ2を取得後、3年以上の指導経験を有する者 ②10年以上の指導経験を有し、全国大会出場選手を育成した指導者で都道府県協会(連盟)会長が推薦する者 ③過去5年以内に日本代表として、JTTAが派遣した世界レベルの大会に出場経験がある者 ④日本卓球協会強化本部が推薦する者 (実技科目の免除条件については別途定める)	
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅲ(150h)
		専門科目	専門科目コーチ3(60h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅲ:22,000円(税込)／教師:61,600円(税込)※別途リファレンスブック代:3,300円(税込)
		専門科目	受講料:15,400円(税込) ※実施団体が別途定める場合がある。 テキスト代:卓球コーチング教本改訂版 3,080円(税込)
実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する	
	専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ■講習会 集合講習40h、その他20hとし、日本卓球協会が実施する。 ※その他(20h)について ①事前・事後学習については、所定のレポートを提出 ②体験実習については、国民スポーツ関係大会(都道府県内の国スポ選手選考会を兼ねた大会、ブロック大会、本大会も可)運営又は見学。体験後、所定のレポートを作成。提出方法は要項参照 ■検定試験 技能検定、レポート、筆記試験を加えた総合判定 ■審査 日本卓球協会指導者養成委員会において審査する。 ■免除要件 免除規程を別に定める。 	
登録に係る内容	登録料 (4年間)	基本登録料:10,000円	
		資格別登録料:10,000円	
		初期登録手数料(初回登録時のみ):3,300円	
更新登録要件	(公財)日本卓球協会登録会員であり、資格有効期限の6か月前までに、最低1回は、日本卓球協会が定める研修又は日本スポーツ協会(都道府県スポーツ協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。		
特記事項			